

報告事項 キ

平成23年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
について

平成23年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」について、別紙のとおり報告します。

平成24年10月19日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成23年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」 について

平成24年10月19日

小中学校課、高等学校課

1 鳥取県の調査結果の概要

(1) 小・中・高校（公立のみ）の暴力行為の発生件数

- 前年度に比べて発生件数は小学校、中学校、高校とも減少
- 県全体の発生件数は2年連続で減少
- 1,000人当たりの発生件数も前年度より減少

【概要】

<小学校>

・発生件数は、11件で、前年度（13件）より減少。

<中学校>

・発生件数は、106件で、前年度（115件）より減少。

<高校>

・発生件数は、56件で、前年度（68件）より減少。

○小・中・高の児童生徒1,000人当たりの発生件数は2.8件で、全国（4.2件）を下回る。

○暴力行為の区分の内、「対教師暴力」の発生件数は18件で、前年度（30件）より大きく減少。

【鳥取県の暴力行為の発生件数の推移】

暴力行為		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前年比増減
鳥取県	小	4	3	4	13	4	13	6	3	13	13	11	-2
	中	174	118	151	142	97	76	65	90	123	115	106	-9
	高	58	40	33	63	38	61	50	59	61	68	56	-12
	計	236	161	188	218	139	150	121	152	197	196	173	-23
	発生件数 /千人	3.1	2.2	2.6	3.1	2.0	2.2	1.9	2.3	3.1	3.1	2.8	-0.3
全国	発生件数 /千人	2.8	2.5	2.7	2.6	2.6	3.1	3.7	4.2	4.3	4.6	4.2	-0.4

※全国の1,000人当たりの発生件数は公立のみの数値

(2) 小・中・高校（公立のみ）のいじめの認知件数

- 前年度に比べて認知件数は小学校は増加、中学校は減少、高校は増加
- 県全体の認知件数は2年連続で増加
- 1,000人当たりの認知件数も前年度より増加

【概要】

<小学校>

- ・認知件数は、21件で、前年度（13件）より増加。

<中学校>

- ・認知件数は、29件で、前年度（35件）より減少。

<高校>

- ・認知件数は、21件で、前年度（5件）より増加。

○小・中・高の児童生徒1,000人当たりの認知件数は1.2件で、全国（5.0件）を大きく下回る。

○いじめの態様の中では、「冷やかしからいじめ、悪口や脅し文句等」が最も多く、「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする」、「ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする」などが増加している。

【鳥取県のいじめの認知件数の推移】

いじめ		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前年比増減
鳥取県	小	5	7	13	10	4	35	31	19	11	13	21	8
	中	52	30	57	35	30	74	35	38	25	35	29	-6
	高	6	3	20	12	6	17	26	5	7	5	21	16
	特	0	0	0	0	0	0	3	2	10	2	2	0
	計	63	40	90	57	40	126	95	64	53	55	73	18
	発生件数/千人	0.8	0.5	1.3	0.8	0.6	1.8	1.8	1.0	1.2	1.0	1.2	0.2
全国公立のみ	小	6,206	5,659	6,051	5,551	5,087	60,380	48,526	40,545	34,494	35,603	32,705	-2,898
	中	16,635	14,562	15,159	13,915	12,794	49,443	42,122	35,757	31,162	31,424	29,636	-1,788
	高	2,119	1,906	2,070	2,121	2,191	9,166	6,388	5,043	4,307	5,127	4,648	-479
	特	77	78	71	84	71	371	334	307	256	342	333	-9
	計	25,037	22,205	23,351	21,671	20,143	119,360	97,370	81,652	70,219	72,496	67,322	-5,174
	発生件数/千人	1.8	1.6	1.7	1.6	1.5	8.7	7.1	6.0	5.1	5.6	5.0	-0.6

※H18年度より全国の発生件数/千人は国立、私立を含む値

(3) 小・中学校（国立、私立含む）の不登校

- 前年度に比べて小学校の不登校児童数は横ばい、中学校の不登校生徒数は減少
- 出現率は、小学校は全国をやや上回り、中学校も依然全国平均を上回っているものの前年度より減少している
- 不登校児童生徒の復帰率（※）は、小・中学校ともに全国を大きく上回り、半数近くの児童生徒が復帰

※不登校となった児童生徒のうち、指導により登校するようになった児童生徒の割合

【概要】

<小学校>

- ・不登校児童数は109人で、前年度（109人）と変わらず（±0）
- ・不登校児童の割合は0.34%で全国（0.33%）をやや上回った。

<中学校>

- ・不登校生徒数は477人で、前年度（526人）に比べて減少（-49人）
- ・不登校生徒の割合は2.87%で全国（2.64%）を上回った。

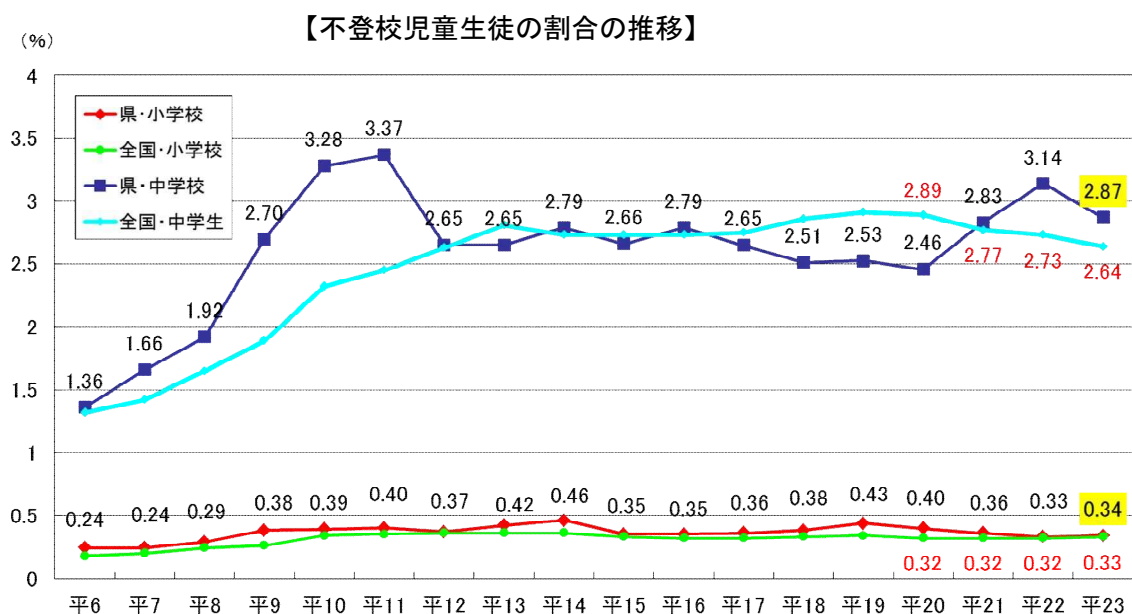
【復帰率】

<小学校>

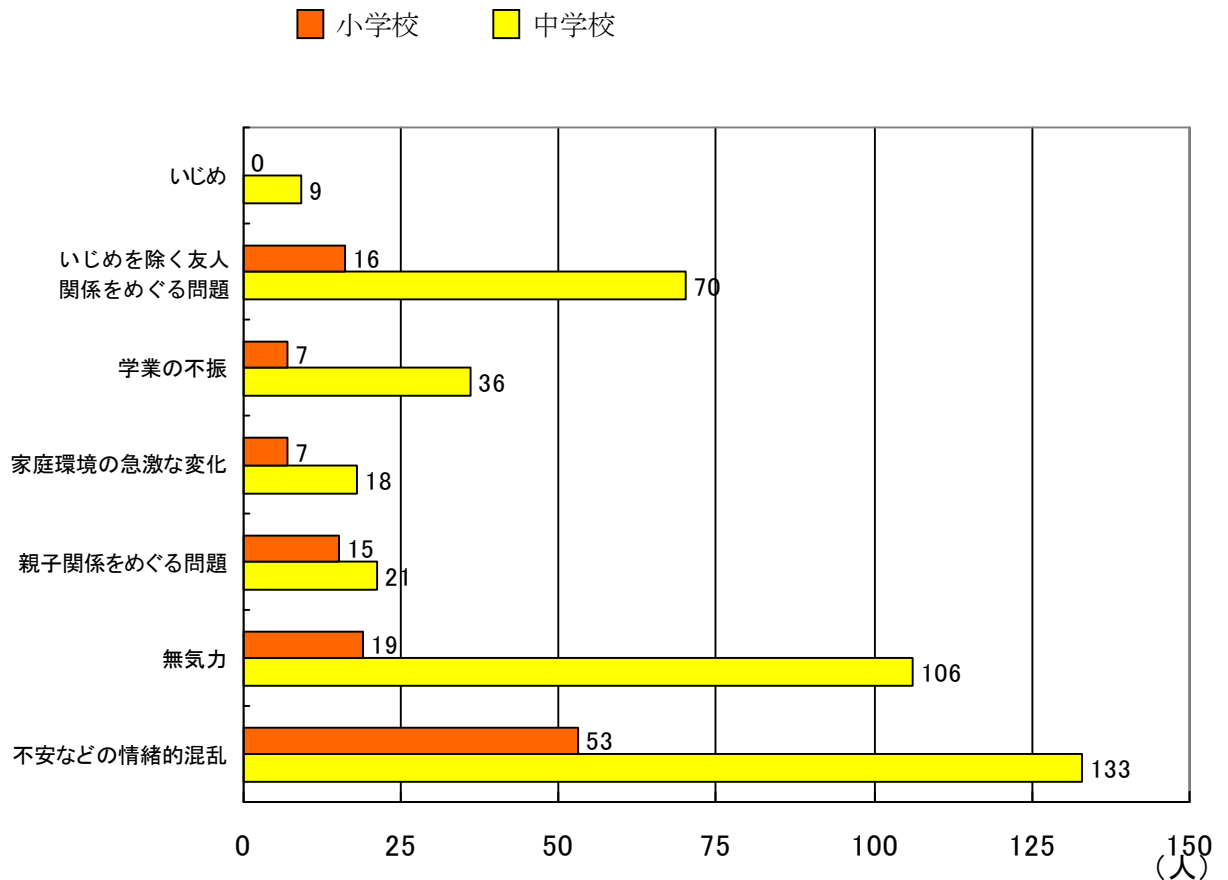
- ・39.4%で全国（33.1%）を大きく上回った。

<中学校>

- ・43.0%で全国（30.6%）を大きく上回った。



【主な不登校のきっかけ】



【分析】

○中学1年での不登校生徒数は95名で過去3年で最低であるとともに（H21年138名、H22年117名）、新たに不登校になった生徒の数もH21年から漸減している（H21年100名、H22年85名、H23年68名）。

○不登校のきっかけとして、小学校、中学校ともに「不安などの情緒的混乱」、「無気力」という本人に関わる問題が多く、「(いじめを除く)友人関係をめぐる問題」が続いている。

問題行動(暴力行為・いじめ)等の状況に関する集計結果

資料

小中学校課
高等学校課
特別支援教育課

1 暴力行為

(1) 鳥取県の暴力行為の発生件数の推移

暴力行為		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前年比増減
鳥取県	小	4	3	4	13	4	13	6	3	13	13	11	-2
	中	174	118	151	142	97	76	65	90	123	115	106	-9
	高	58	40	33	63	38	61	50	59	61	68	56	-12
	計	236	161	188	218	139	150	121	152	197	196	173	-23
	発生件数/千人	3.1	2.2	2.6	3.1	2.0	2.2	1.9	2.3	3.1	3.1	2.8	-0.3
全国公立のみ	小	1,630	1,393	1,777	2,100	2,176	3,755	5,095	6,367	7,043	6,817	7,075	258
	中	29,388	26,295	27,414	25,984	25,796	29,476	35,649	41,509	42,578	41,057	38,025	-3032
	高	7,213	6,077	6,201	5,938	6,046	6,715	7,290	7,453	7,106	6,963	6,678	-285
	計	38,231	33,765	35,392	34,022	34,018	39,946	48,034	55,329	56,727	54,837	51,778	-3059
	発生件数/千人	2.8	2.5	2.7	2.6	2.6	3.1	3.7	4.2	4.3	4.6	4.2	-0.4

(2) 暴力行為の区分

区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前年比増減	
対教師暴力	小	2	0	0	4	0	3	0	0	2	1	0	-1
	中	32	21	20	29	23	15	5	13	11	26	18	-8
	高	6	2	2	8	5	6	5	4	8	3	0	-3
	計	40	23	22	41	28	24	10	17	21	30	18	-12
生徒間暴力	小	2	2	1	5	3	2	1	3	4	10	9	-1
	中	73	53	56	77	55	45	37	41	78	65	64	-1
	高	23	28	17	21	22	41	28	33	26	40	36	-4
	計	98	83	74	103	80	88	66	77	108	115	109	-6
対人暴力	小	0	0	0	0	1	2	1	0	1	1	1	0
	中	13	4	8	7	4	8	4	4	13	8	3	-5
	高	2	1	3	6	0	1	1	0	3	3	2	-1
	計	15	5	11	13	5	11	6	4	17	12	6	-6
器物損壊	小	0	1	3	4	0	6	4	0	6	1	1	0
	中	56	40	67	29	15	13	19	32	21	16	21	5
	高	27	9	11	28	11	13	16	22	24	22	18	-4
	計	83	50	81	61	26	32	39	54	51	39	40	1

(注) ・対教師暴力(教師の胸ぐらをつかむ、ケガをさせるなどの行為)
 ・生徒間暴力(生徒同士がけんかし一方がケガを負う、一方的に暴行を加えるなどの行為)
 ・対人暴力(通りかかった他校の生徒や通行人等面識のない相手に暴行を加えたなどの行為)
 ・器物損壊(修繕を要する落書き、施設の破損などの行為)

2 いじめ

(1) 鳥取県のいじめの認知件数の推移

※H18年度より全国の発生件数/千人は国立、私立を含む値

いじめ		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前年比増減
鳥取県	小	5	7	13	10	4	35	31	19	11	13	21	8
	中	52	30	57	35	30	74	35	38	25	35	29	-6
	高	6	3	20	12	6	17	26	5	7	5	21	16
	特	0	0	0	0	0	0	3	2	10	2	2	0
	計	63	40	90	57	40	126	95	64	53	55	73	18
発生件数/千人	0.8	0.5	1.3	0.8	0.6	1.8	1.8	1.0	1.2	1.0	1.2	0.2	
全国公立のみ	小	6,206	5,659	6,051	5,551	5,087	60,380	48,526	40,545	34,494	35,603	32,705	-2,898
	中	16,635	14,562	15,159	13,915	12,794	49,443	42,122	35,757	31,162	31,424	29,636	-1,788
	高	2,119	1,906	2,070	2,121	2,191	9,166	6,388	5,043	4,307	5,127	4,648	-479
	特	77	78	71	84	71	371	334	307	256	342	333	-9
	計	25,037	22,205	23,351	21,671	20,143	119,360	97,370	81,652	70,219	72,496	67,322	-5,174
発生件数/千人	1.8	1.6	1.7	1.6	1.5	8.7	7.1	6.0	5.1	5.6	5.0	-0.6	

(注) H17年度までは発生件数、H18以降は認知件数

(2) いじめの態様

区分	区 分				計
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句等	16	19	7	1	43
仲間はずれ、集団による無視	6	2	0	0	8
軽く叩かれたり、蹴られたりする	7	11	3	0	21
ひどく叩かれたり、蹴られたりする	0	4	7	1	12
金品をたかられる	0	1	4	0	5
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	0	5	2	0	7
いやなこと恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする	3	9	8	0	20
パソコンや携帯電話で誹謗中傷やいやなことをされる	0	3	1	0	4
その他	0	1	1	0	2
計	32	55	33	2	122

(注) 複数回答可

(3) いじめの解消状況

	いじめが解消しているもの				一定の解消が図られたが、継続支援中	解消に向けて取組中	他校への転学、退学等	計
	小	中	高	特				
小	17				3	1	0	21
中	17				11	1	0	29
高	7				13	0	1	21
特	2				0	0	0	2
計	43				27	2	1	73

不登校児童生徒数の推移(H6～H23)

(1) 鳥取県の不登校児童生徒数の推移

小中学校課

(人)

	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23
小学校	111	107	125	157	159	160	143	160	170	127	122	124	128	146	132	117	109	109
中学校	339	408	470	641	784	779	590	572	575	535	542	502	459	458	432	490	526	477

〈参考: 全国の不登校児童・生徒総数〉

	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23
小学校	15,786	16,569	19,498	20,765	26,017	26,047	26,373	26,511	25,869	24,077	23,318	22,709	23,825	23,927	22,652	22,327	22,463	22,622
中学校	61,663	65,022	74,853	84,701	101,675	104,180	107,913	112,211	105,383	102,149	100,040	99,578	103,069	105,328	104,153	100,105	97,428	94,836

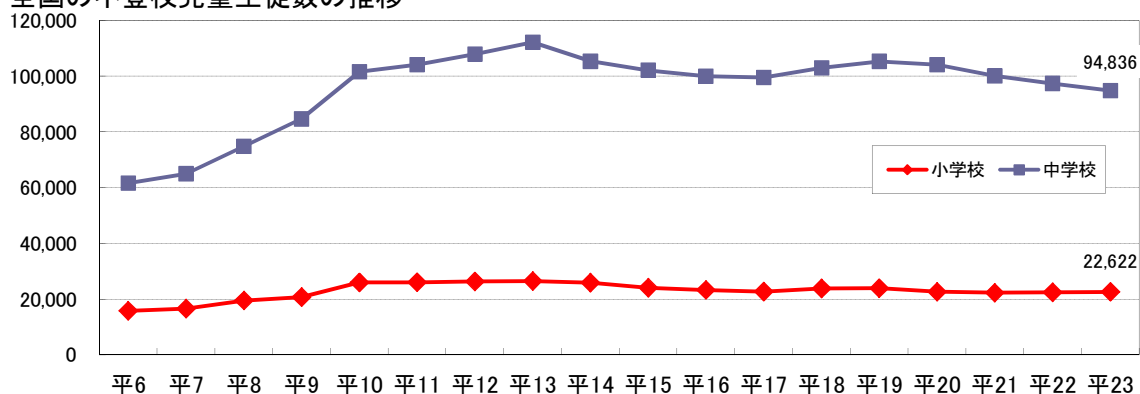
(2) 不登校児童生徒の占める割合の推移(100人あたり)

(%)

小学校	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23
鳥取県	0.24	0.24	0.29	0.38	0.39	0.40	0.37	0.42	0.46	0.35	0.35	0.36	0.38	0.43	0.40	0.36	0.33	0.34
全国	0.18	0.20	0.24	0.26	0.34	0.35	0.36	0.36	0.36	0.33	0.32	0.32	0.33	0.34	0.32	0.32	0.32	0.33

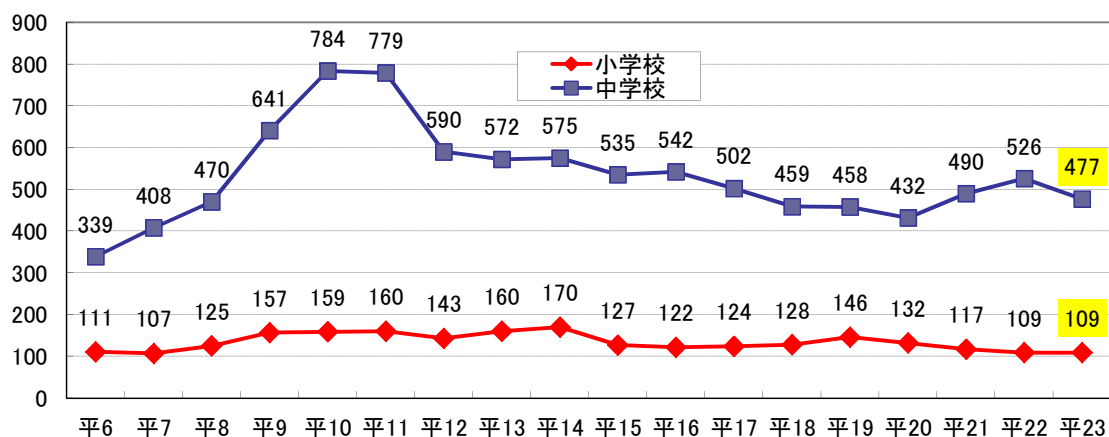
中学校	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23
鳥取県	1.36	1.66	1.92	2.70	3.28	3.37	2.65	2.65	2.79	2.66	2.79	2.65	2.51	2.53	2.46	2.83	3.14	2.87
全国	1.32	1.42	1.65	1.89	2.32	2.45	2.63	2.81	2.73	2.73	2.73	2.75	2.86	2.91	2.89	2.77	2.73	2.64

(人) 全国の不登校児童生徒数の推移



鳥取県の不登校児童生徒数の推移

(人)



平成23年度不登校児童生徒数及び前年度から不登校の状態が継続している児童生徒数

区分	在籍児童生徒総数	不登校児童生徒数																		(7) 計		
		学年別内訳																				
		(1) 1年			(2) 2年			(3) 3年			(4) 4年			(5) 5年			(6) 6年			男	女	計
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計					
小学校	31,762	0	1	1	3	2	5	6	3	9	13	11	24	10	13	23	20	27	47	52	57	109
※	—	—	—	—	0	0	0	0	1	1	5	7	12	6	4	10	10	12	22	21	24	45
中学校	15,895	48	47	95	100	75	175	115	85	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	263	207	470
※	—	19	8	27	52	40	92	76	63	139	—	—	—	—	—	—	—	—	—	147	111	258
合計	47,657	48	48	96	103	77	180	121	88	209	13	11	24	10	13	23	20	27	47	315	264	579
※の合計	—	19	8	27	52	40	92	76	64	140	5	7	12	6	4	10	10	12	22	168	135	303

※の欄は、前年度から不登校の状態(30日以上)が継続している児童生徒の人数を、平成23年度の不登校児童生徒数の内数として表したものを示す。

平成23年度鳥取県立高等学校不登校生徒の状況について

高等学校課

1 不登校生徒の状況

(1) 概況

ア 不登校生徒数の推移

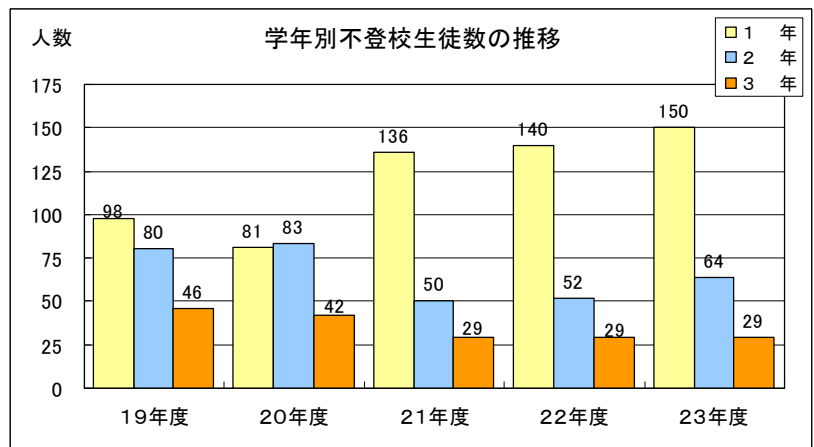


(注) 不登校を理由とする欠席日数の集計方法について

平成10年度までは年間50日以上、11年度以降は30日以上の欠席を対象としている

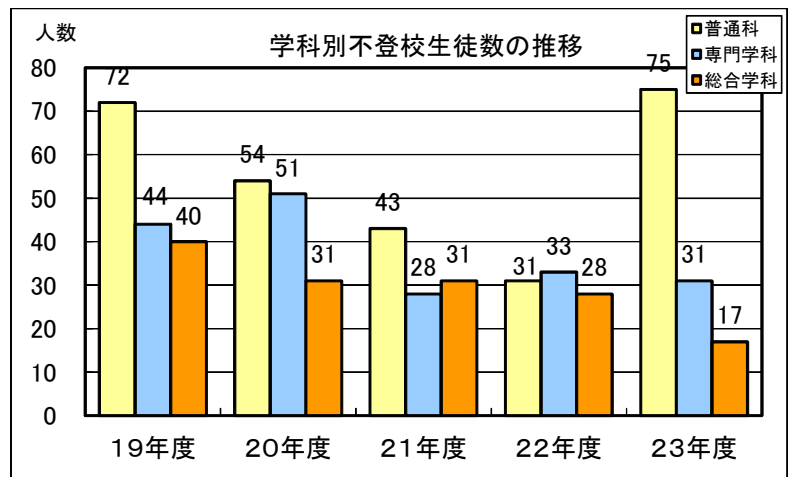
イ 学年別状況

- ・昨年に引き続き不登校生徒に占める1年生の割合が高い(61.7%)
- ・2年生の不登校生徒数は増加
- ・3年生の不登校生徒数は横ばい



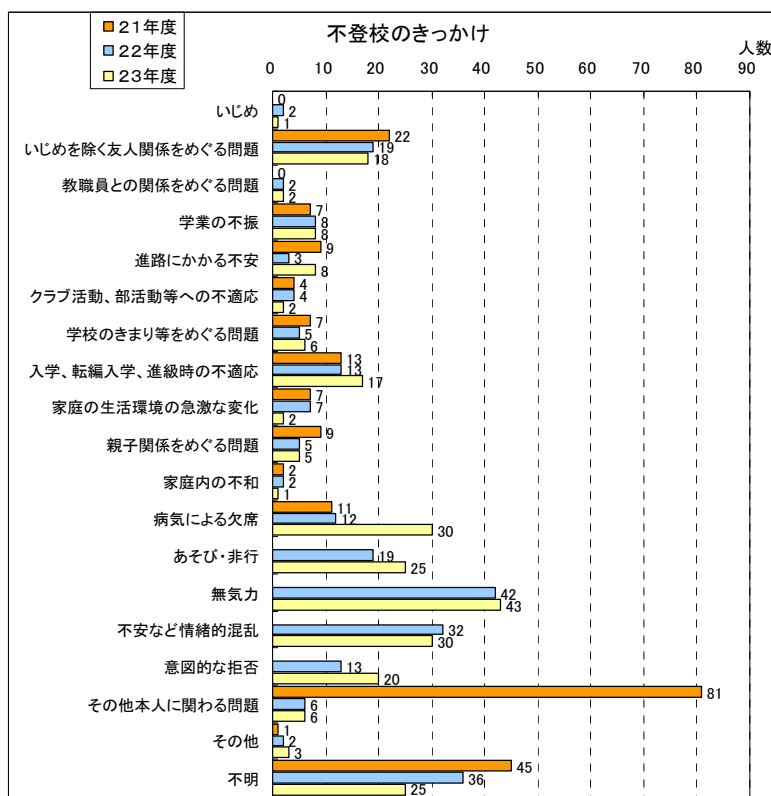
ウ 全日制における学科別状況

- ・普通科における不登校生徒数が急増(31人→75人)
- ・総合学科における不登校生徒数は減少



(2) 不登校のきっかけについて

- ・本人の問題に起因する項目の合計が大幅に増加し、全体の半数以上を占める（53.4%→61.1%）
- ・中でも、学校生活への興味・関心や意欲の低下・不足（「無気力」、「あそび・非行」、「意図的な拒否」）によるものの合計が34.9%で、全体の1/3
- ・また、精神的な要因（「不安など情緒的な混乱」）によるものも11.9%と高い
- ・友人関係をめぐらる問題に起因する不登校は平成21年度より減少傾向。
- ・病気による欠席が急増（5.2%→11.9%）



2 分析

- (1) 前年度と比較して全日制課程は増加（0.7%→0.96%）、定時制課程はほぼ横ばい（25.2%→25.1%）
1年生の不登校生徒数（150名）の出現率が高い。

(2) 本人に関わる問題がきっかけで不登校となる生徒が増加

入学時の目的意識が希薄で学習意欲が不足している、入学後の新しい環境や人間関係に適応できない等の生徒の増加が考えられる。また、病気による欠席が増加した。無気力が原因になっているものは前年とほぼ同数。

〈背景として考えられること〉

- ・学習内容に興味を持ってない
- ・将来についての目標や展望を持ってない
- ・友人や家族との関わりが希薄になっている

(3) 不登校の状況は深刻化

不登校の生徒に対しては、担任、学年主任をはじめ、養護教諭、校内教育相談担当教員、スクールカウンセラー、外部専門機関等が連携して支援しているにもかかわらず、年度末の時点で授業に出席できるようになった生徒は、30名で全体の12.3%にとどまっている。

3 24年度における取組

(1) スクールカウンセラー・教育相談員の配置

- ア スクールカウンセラーを全県立高校24校に配置。
- イ 臨床心理士の資格を有する教育相談員を東中西部各教育局に配置し、各学校を訪問。

(2) 高等学校における不登校（傾向）生徒支援事業（県教育センター）

- ア ハートフルスペース（通所指導）。
- イ 不登校予防及び中途退学予防としてのhyper-QU調査について指導助言。

4 今後の不登校防止策

- (1) 教育相談員やスクールカウンセラーと連携し、コミュニケーションスキルや対人関係スキルなどのソーシャルスキルを身につけさせるためのトレーニングを実施して、社会性・人間関係構築能力を育成し、入学当初の新しい環境への適応を促す。
- (2) hyper-QU調査等を用いてクラス全体の状況や生徒個々の状況を客観的に分析することで、学校不適應から不登校に至る可能性が高い生徒を見出し、タイミングのよい面談やカウンセリングによる支援につなげる。
- (3) 特別な支援を要する生徒が不登校に陥るケースもあることから、保護者、担任、特別支援教育担当教員、教育相談担当教員、スクールカウンセラー等の協働により組織的に対応し支援する。
- (4) LD等専門員、専門機関などの外部機関の指導・助言を得て、全教職員が発達障がいのある生徒に対する基礎的・基本的な知識や支援のスキル等を共有し支援にあたる。
- (5) 生徒が目標を持って学校生活を送ることができるよう、各学校の実態に応じたキャリア教育をとおして、生徒に自らの生き方・在り方を考えさせる指導を充実する。

鳥取県立高等学校の不登校生徒数の推移

高等学校課

		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
在籍生徒数		14,732		14,330		13,904		13,713		13,246	
学年別	1年	98	2.00	81	1.68	136	2.86	140	2.96	150	3.42
	2年	80	1.61	83	1.77	50	1.09	52	1.15	64	1.43
	3年	46	0.95	42	0.87	29	0.64	29	0.65	29	0.66
	4年	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合計		224	1.52	206	1.44	215	1.55	221	1.61	243	1.83
男女別	男	89	1.19	100	1.38	108	1.55	110	1.61	119	1.81
	女	135	1.86	106	1.50	107	1.54	111	1.61	124	1.86
課程別	全日制	156	1.10	136	0.98	102	0.76	92	0.70	123	0.96
	定時制	68	12.30	70	13.54	113	22.11	129	25.20	120	25.10
全日制課程別	普通科	72	0.98	54	0.74	43	0.60	31	0.43	75	1.05
	専門学科	44	0.78	51	0.94	28	0.55	33	0.64	31	0.60
	総合学科	40	3.44	31	2.79	31	2.86	28	2.59	17	1.57
退学者数		77		72		64		72		72	
不登校生徒に対する割合(%)		34.4		35.0		29.8		32.6		29.6	
全国の不登校率(公立高等学校)		1.70		1.70		1.67		1.84		1.88	

不登校のきっかけ		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
学校生活に起因	いじめ	3	1.3	0	0.0	0	0.0	2	0.9	1	0.5
	いじめを除く友人関係をめぐり問題	29	12.9	31	14.6	22	10.4	19	9.0	18	8.5
	教職員との関係をめぐり問題	1	0.4	1	0.5	0	0.0	2	0.9	2	0.8
	学業の不振	13	5.8	9	4.2	7	3.2	8	3.4	8	3.2
	進路にかかる不安	13	5.8	8	3.8	9	4.1	3	1.3	8	3.2
	クラブ活動、部活動等への不適応	7	3.1	4	1.9	4	1.8	4	1.7	2	0.8
	学校のきまり等をめぐり問題	7	3.1	19	9.0	7	3.2	5	2.2	6	2.4
	入学、転編入学、進級時の不適応	9	4.0	12	5.7	13	6.0	13	5.6	17	6.7
	小計	79	35.1	84	39.6	62	28.4	56	24.1	62	24.6
家庭生活に起因	家庭の生活環境の急激な変化	5	2.2	3	1.4	7	3.2	7	3.0	2	0.8
	親子関係をめぐり問題	8	3.6	12	5.7	9	4.1	5	2.2	5	2.0
	家庭内の不和	2	0.9	3	1.4	2	0.9	2	0.9	1	0.4
	小計	15	6.7	18	8.5	18	8.3	14	6.0	8	3.2
本人の問題に起因	病気による欠席	7	3.1	10	4.7	11	5.0	12	5.2	30	11.9
	あそび・非行							19	8.2	25	9.9
	無気力							42	18.1	43	17.1
	不安など情緒的混乱							32	13.8	30	11.9
	意図的な拒否							13	5.6	20	7.9
	その他本人に関わる問題	70	31.1	53	25.0	81	37.2	6	2.6	6	2.4
	小計	77	34.2	63	29.7	92	42.2	124	53.4	154	61.1
その他	10	4.4	5	2.4	1	0.5	2	0.9	3	1.2	
不明	44	19.6	42	19.8	45	20.6	36	15.5	25	9.9	
合計	225	100	212	100	218	100	232	100	252	100	

(注1) 18年度以降、不登校生徒1人につき、主たるきっかけの考えられるものをすべて選択。

(注2) %は不登校のきっかけにおける構成比率を表す。

平成23年度鳥取県立高等学校中途退学者の状況について

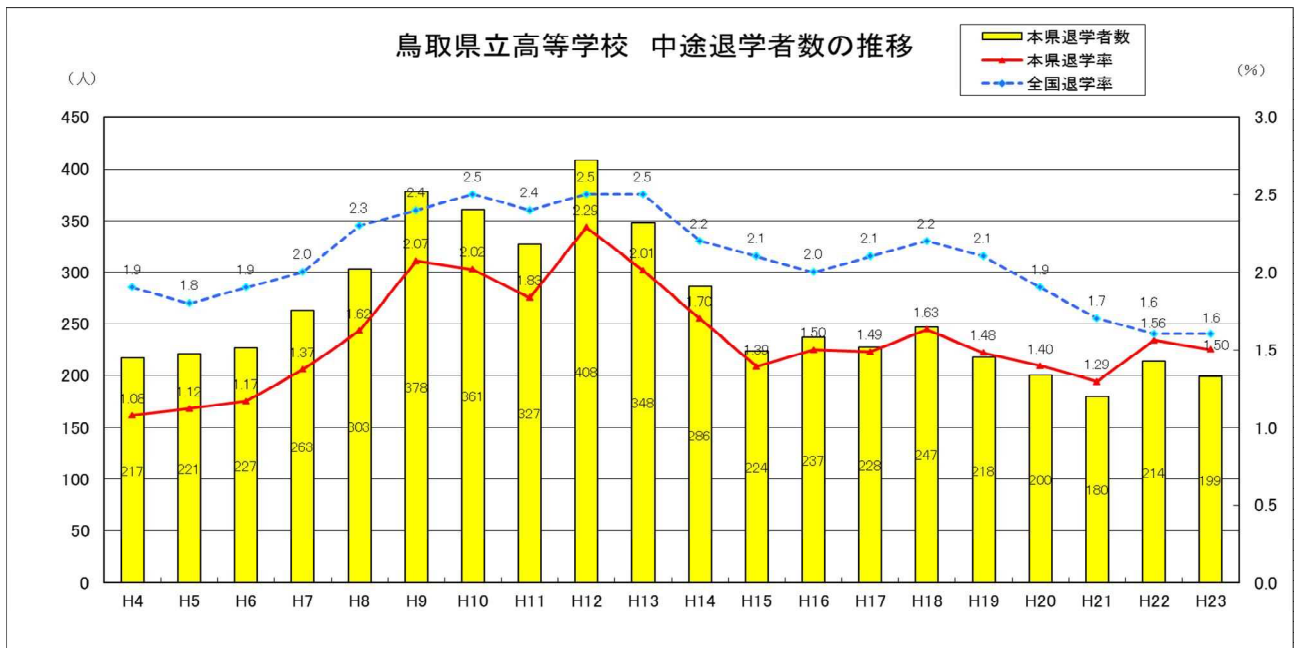
高等学校課

1 中途退学者の状況

(1) 概況

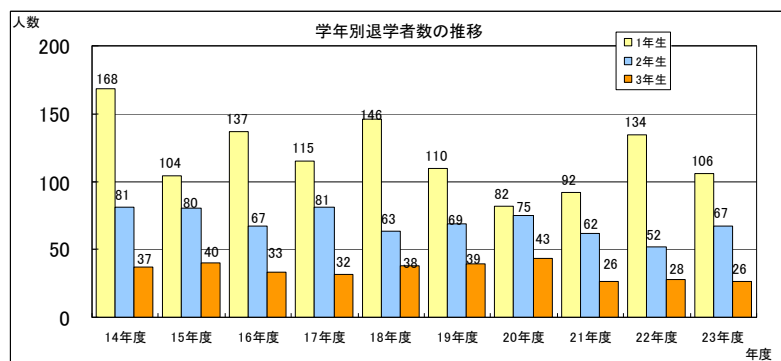
ア 退学者数の推移

県立高等学校の中途退学者数は、前年比15人の減少
 生徒100人あたりの退学者の割合は、0.06ポイント下がり、1.50



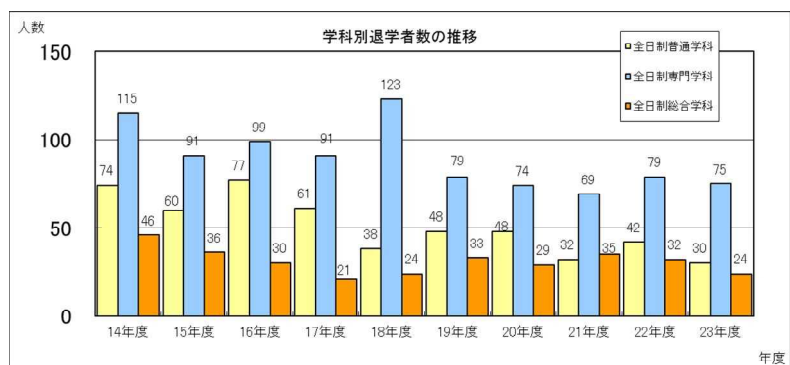
イ 学年別状況

1年生の退学者数が大幅に減少した一方、2年生の退学者数は増加、3年生は横ばい



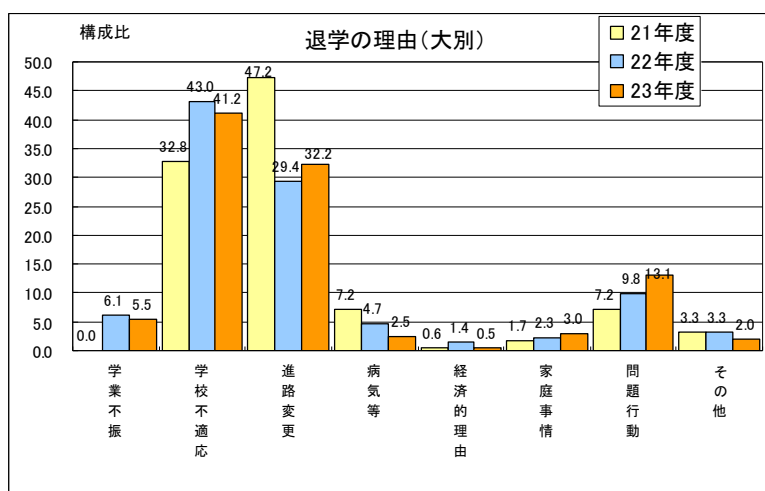
ウ 全日制における学科別状況

学科別の退学者数は、普通学科、専門学科、総合学科ともに減少



(2) 退学の理由について

- 昨年度とほぼ同様の傾向である。
- 問題行動等による退学者が微増（21人→26人）
- 高卒程度認定試験に合格して進学が決まり、退学に至った者が増加（14人→17人）



2 分析

(1) 全日制、定時制とも前年度より減少（214人→199人）

全体として減少傾向であるが、専門学科において熱意なし、興味なしといった学校不適応を理由としたものが1年生で顕著となっている。

〈背景として考えられること〉

- ・学習習慣や学習意欲を身につけないまま入学している
- ・専門教科への不適応により学業不振に陥った
- ・学科の内容を十分に理解しないまま入学するミスマッチ

(2) 「学校生活・学業不適応」による退学は減少傾向、「進路変更」を理由とする退学は前年度より増加

「学校生活・学業不適応」を理由とする退学のうち、人間関係がうまく保てないとした理由のものが減少、また学校の雰囲気があわないことを理由としたものは0%であったが、授業に興味があかないものは年々増加している状況がある。

- ・高校生活に熱意がない（12.6%→12.6%）
- ・授業に興味があかない（15.9%→18.6%）
- ・人間関係がうまく保てない（10.7%→6.5%）
- ・学校の雰囲気があわない（2.3%→0%）

(3) 就職を希望して退学した生徒数はやや増加（21人→29人）

3 中途退学の防止策について

(1) 従来の取組の充実・強化

ア 生徒が意欲的に学校生活を送るための取組

- ・分かる授業を行い、生徒が学習意欲を高め、主体的に授業にかかわる授業を創造するための教科指導力の向上を図る。
- ・学校内外において、生徒の活躍の場を確保（部活動、生徒会活動、地域貢献活動等）し、生徒の自己有用感や自尊感情を醸成する。
- ・キャリア教育を充実させ、自らの生き方に対する自覚を促し、進路意識の高揚を図る。

イ 問題行動防止のための取組

- ・生徒指導ガイドラインに則した適切な生徒指導を行い、基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成を図る。
- ・保護者の理解や協力のもと、担任、生徒指導主事、教育相談担当教員、スクールカウンセラー等の協働により組織的に対応し支援する。

(2) 24年度における取組

ア 定通教育充実事業

定時制・通信制に在籍する生徒に対して、集団生活体験及びコミュニケーション能力の育成、生活体験及び社会体験活動の充実、基礎学力の充実を図る。

(3) 中学校との連携強化

ア 高等学校における学習内容や学校生活に関する情報を中学生・保護者へ積極的に提供する。

イ 中学生を対象とする高等学校の体験入学や授業参観等を積極的に活用し、中学校における進路指導の充実を図る。

ウ 中学校教員の高等学校での学習内容や進路状況等の理解促進を図るため、中学校教員を対象とする説明会等を開催し、積極的な参加を要請する。

鳥取県立高等学校の中途退学者数の推移

高等学校課

		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
学年別	1年	110	50.5%	82	41.0%	92	51.1%	134	62.6%	106	53.3%
	2年	69	31.7%	75	37.5%	62	34.4%	52	24.3%	67	33.7%
	3年	39	17.9%	43	21.5%	26	14.4%	28	13.1%	26	13.1%
	4年	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		218		200		180		214		199	
男女	男	113	51.8%	119	59.5%	99	55.0%	119	55.6%	106	53.3%
	女	105	48.2%	81	40.5%	81	45.0%	95	44.4%	93	46.7%
全定	全日制	160	73.4%	151	75.5%	136	75.6%	153	71.5%	147	73.9%
	定時制	58	26.6%	49	24.5%	44	24.4%	61	28.5%	52	26.1%
全学 日制別	普通科	48	30.0%	48	31.8%	32	23.5%	42	27.5%	48	32.7%
	専門学科	79	49.4%	74	49.0%	69	50.7%	79	51.6%	75	51.0%
	総合学科	33	20.6%	29	19.2%	35	25.7%	32	20.9%	24	16.3%
退学 の 主 な 理 由	学業不振	2	0.9%	4	2.0%	0	0.0%	13	6.1%	11	5.5%
	学校生活・学業不適応	75	34.4%	81	40.5%	59	32.8%	92	43.0%	82	41.2%
	高校生活に熱意がない	22	10.1%	11	5.5%	12	6.7%	27	12.6%	25	12.6%
	授業に興味がない	14	6.4%	23	11.5%	23	12.8%	34	15.9%	37	18.6%
	人間関係がうまく保てない	20	9.2%	15	7.5%	13	7.2%	23	10.7%	13	6.5%
	学校の雰囲気があわない	11	5.0%	20	10.0%	9	5.0%	5	2.3%	0	0.0%
	その他	8	3.7%	12	6.0%	2	1.1%	3	1.4%	7	3.5%
	進路変更	110	50.5%	85	42.5%	85	47.2%	63	29.4%	64	32.2%
	別の高校	20	9.2%	22	11.0%	11	6.1%	13	6.1%	12	6.0%
	専修学校等	8	3.7%	6	3.0%	5	2.8%	3	1.4%	2	1.0%
	就職希望	68	31.2%	38	19.0%	55	30.6%	21	9.8%	29	14.6%
	認定試験希望	7	3.2%	16	8.0%	7	3.9%	14	6.5%	17	8.5%
	その他	7	3.2%	3	1.5%	7	3.9%	12	5.6%	4	2.0%
	病気・けが・死亡	3	1.4%	8	4.0%	13	7.2%	10	4.7%	5	2.5%
経済的理由	3	1.4%	1	0.5%	1	0.6%	3	1.4%	1	0.5%	
家庭の事情	6	2.8%	2	1.0%	3	1.7%	5	2.3%	6	3.0%	
問題行動等	18	8.3%	14	7.0%	13	7.2%	21	9.8%	26	13.1%	
その他	1	0.5%	5	2.5%	6	3.3%	7	3.3%	4	2.0%	
本県退学率 (%)		1.48		1.40		1.29		1.56		1.50	
全国退学率 (%) (公立高校)		2.1		1.9		1.7		1.6		1.6	